

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ピアノレパートリーⅡ Piano RepertoryⅡ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ ピアノ演奏法Ⅰ ピアノ演奏法Ⅱ ピアノレパートリーⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程(幼稚園教諭二種)、保育士資格取得に必要な科目				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
メンサー華子 藤野理恵子 中沢充恵 西尾幸子	講義棟1階	月・木・金		授業中に指示します
授業の概要				
この授業は、音楽表現の可能性を追求し、幅広い音楽的な表現活動に対応できる演奏技術と歌唱(弾き歌い)の習得を図る。授業内容としては、主にクラシックや幼児曲以外の音楽(ポピュラーやジャズ)、採用試験での課題(幼児)曲や内定先で弾く幼児曲等、各自の希望に対応した指導でピアノや幼児曲のレパートリーを増やすことを目的とする。				
授業の目標				
①子どもの表現力を育てる音楽に触れ、自ら成長しようとする姿勢を身につけることができるようにする。 ②コードネームの基本コード(和音)を覚え、難易度の高い曲でも簡単に应用することができるようにする。 ③歌詞の内容やうたの指導のねらいを把握し、子どもたちにうたを指導することができるようにする。 ④自由曲演習では自ら選んだ曲を楽しんで表現することができるようにする。				
授業の方法				
実技、演習形式で行う。基本的には、担当教員4名による個人レッスンと必要に応じてグループ演習を取り入れる。個人レッスンとグループ演習の授業の際には、ピアノ実技が担当教員3名、歌唱指導は担当教員1名で指導し、ピアノ実技と歌唱(歌唱法や弾き歌い)指導の各レッスンを受ける。				
学習の成果(学習成果)				
①自分の夢を叶えるために、目的(採用試験や内定先での課題曲など)を果たそうとする姿勢を身につけることができる。 ②簡単なコードを使って幼児曲を弾くことができ、様々な幼児曲の伴奏法や弾き歌いに発展させることができる。 ③子どもたちのうたの表現のねらいを達成するために、表現活動を音楽的に指導することができる。 ④豊かに表現する喜びを感じ、様々な音楽を子どもたちの表現活動に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	全体オリエンテーション：授業概要、評価方法、受講上の注意等を説明 担当者別：教材の選定と課題			
第2回目	ピアノ実技：自由曲演習① 簡易伴奏法：コードネームを用いた簡略化した伴奏法			
第3回目	ピアノ実技：自由曲演習② 簡易伴奏法：簡略化した伴奏と歌唱の両立			
第4回目	ピアノ実技：自由曲演習③ 簡易伴奏法：簡略化した伴奏の音形やリズム変化(グループ演習)			
第5回目	ピアノ実技：自由曲演習④ 弾き歌いの実践・歌唱指導(グループ演習)			
第6回目	ピアノ実技：自由曲演習⑤ 弾き歌いの実践・歌唱指導(グループ演習)			

第7回目	ピアノ演奏技法：速度記号および楽語の指示を理解して演奏に活かす①		
第8回目	ピアノ演奏技法：速度記号および楽語の指示を理解して演奏に活かす②		
第9回目	ピアノ実技：発表曲の選定と指導ポイント		
第10回目	ピアノ実技：発表曲指導① 歌唱表現：リズムを活かした歌唱法(グループ演習)		
第11回目	ピアノ実技：発表曲指導② 歌唱表現：フレージングを感じさせる歌唱法(グループ演習)		
第12回目	ピアノ実技：発表曲指導③ 歌唱表現：歌詞の内容を表現する歌唱法(グループ演習)		
第13回目	表現力を広げるための演奏分析①：グループ演習(各自の発表曲)		
第14回目	表現力を広げるための演奏分析②：クラス全体での発表会		
第15回目	演奏分析：発表会講評 今後の課題およびアドバイスの提示		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	与えられた課題を練習して授業に臨んでいるか、レッスンを理解して実践に繋げているかを評価する。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト		
	試験		
	発表内容(態度含む)	50%	担当教員全員の前で1曲演奏し、曲の難易度と表現力で採点する。
	その他	20%	課題曲を何曲レパートリーにできたか、進度についても評価する。
教科書と参考図書			
就職試験課題曲、その他(自由曲)			
履修上の留意点・ルール			
毎回、個人に適した曲が課題となり、次回の授業で担当教員にレッスンを受ける。			